

夢と目標をもつこと

理学部生命科学科 本村大樹

私は、宇宙について興味がありました。それは今でも変わらない、わたしの夢です。

高校に進学した当初は、何になりたいかとか、どんな仕事をしたいかなんて、自分の将来については漠然と想像することしかできませんでした。実際、今でも漠然としていますが、しかし遠回りながらも、わたしは夢に少しずつ近づいていると信じています。

私の卒業した高校では、理科は物理と生物のどちらか教科を選択しなければなりません。中学生の時、すでに物理は苦手だと感じていたので、わたしは迷わず生物教科を選択しました。その後高校2年生の3学期、宇宙開発について興味を持ち、そのとき初めてわたしは「宇宙について知りたい!」と考えました。「宇宙」と考えると、ロケットを打ち上げるだとか、機械を組み立てるだとか、どうしても物理を勉強して工学部に進学した方がいいのではないかと考えましたが、受験間近であったために今更物理を1から勉強できるはずもなく、学校の授業で勉強した生物教科で受験に臨むこととなりました。物理を選択していないため工学部への進学は断念しましたが、数学と理科は好きだったので理学部に進学することを最初の目標としてその後勉強をしました。その結果、兵庫県立大学理学部に進学し、生命科学分野の勉強をすることとなり、その目標を達成しました。

大学に進学してからは、大学を無事に卒業することと、物理を勉強して工学部に入りなおすことを目標に勉強をしました。わたしの夢は「宇宙」ですから、できるだけ多くの講義を受け、全部の学問を修得したい、しなければならぬと考えました。当理学部1回生では、学科に関係なく物理・生物・化学・数学の教科の基礎を勉強します。また、他学部の授業、心理学や経済学など多種多様の勉強をすることができました。どの分野の学問も面白く、自分の知らない世界がまだまだ沢山あるということを知りました。

大学で勉強するにつれて、「宇宙」と一口に言ってもたくさんの分野があることを知りました。たとえば、宇宙での無重力・低重力下で結晶化を行うと結晶の純度が上がり、薬品開発などに有効であるということを知りました。よくよく考えてみると、すべての事象は宇宙とつながっているのかもしれない、ということに気付きました。では、わたしが知りたい宇宙とはどんなことなのだろうか。きっとそれは、自分が考えていたような宇宙工学だけではないと思いました。どんなことをやっても、信念があればいつか自分なりのアプローチで宇宙について知ることが出来ると考えました。

現在、大学院ではシミュレーション学について勉強をしています。それは、今まで勉強してきたことを知ることはできても、自分にはそれを利用するだけの技術を持ちあわせていないと考えたからです。自分にはどんなことが向いているか、どんなことが足りないか、なにがしたいのか、自分について今一度知ることができた大学生活4年間でした。

現在のわたしの夢は、地球や宇宙についてあらゆるシミュレーションを行うことです。

また、理学部で学んだことを利用して、理論上でシミュレーションを行いたいと思っています。まだまだ、漠然としていますが、わたしは夢に向かって少しずつ前に進んでいます。

1日はみな平等に過ぎていきます。それを有意義に過ごすか、無駄に過ごすかはいつだって自分自身に委ねられています。将来に向かって夢や目標をもつことで、特別な毎日を重ねて少しずつ前に進むことができます。近い将来や今日1日の目標を立てること、またその夢をあきらめないことが、遠い将来の夢を達成する原動力になると私は考えています。